

今週（7月22日から7月25日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.475～0.478%が中心となったが、22日(火)～24日(木)までは試し取りを実施する先も見られたため、0.478%を上回る水準での出会いも散見された。そのため加重平均レートは、22日(火)と23日(水)はやや上昇したが、24日(木)以降は試し取りの影響は小さく、レートは低下する展開となった。

ターム物は、1W～3M程度の幅広い期間での引き合いが散見され、0.4%台後半～0.6%程度での出会いとなった。

日銀当座預金残高は、22日(火)に523兆円程度でスタートし、その後は国債の発行などもみられたが、大きな変動はなく概ね同水準での推移となった。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、0.49～0.50%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y460～474回、5Y165～179回、10Y355～379回、20Y180～193回、30Y65～87回、40Y10～18回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、追加利上げに対する織り込みが進んだ影響から、全ゾーンでレートが上昇した。

25日(金)に実施された3M物入札はテールが流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、卸売、鉱業などの業態で大型発行が見られた。

市場残高は、週を通して25兆円台半ばで推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/21 (月)						
7/22 (火)	39,774.92	1.500	147.44	0.479	0.490	5,237,600
7/23 (水)	41,171.32	1.590	146.40	0.478	0.488	5,237,100
7/24 (木)	41,826.34	1.600	146.42	0.477	0.485	5,233,100
7/25 (金)	41,456.23	1.600	147.34	0.477	0.491	5,243,300

来週（7月28日から8月1日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/28 (月)					
7/29 (火)		2Y 8/1発行 26,000億円	交付税借入 8/7借入 10,500億円		米FOMC(1日目) 5月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 7月の米CB消費者信頼感指数
7/30 (水)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～)				米FOMC(2日目) 4-6月期の米GDP速報値 4-6月期のユーロ圏GDP1次速報
7/31 (木)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 経済・物価情勢の展望 日銀総裁定例会見(15:30) 6月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 6月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 6月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) 7月の消費動向調査(内閣府 14:00)				6月の米個人所得・消費支出(PCE) 7月のシカゴPM景況感指数
8/1 (金)	6月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 6月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	TDB3M 8/4発行 43,000億円			7月の米雇用統計 7月のISM製造業景況指数 6月の米建設支出 7月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/28 (月) 日銀予想	400	▲ 5,000	▲ 4,600	社債買入 国債補完	▲ 100 1,200		1,100	▲ 3,500	TDB3M発行▲43,000償還45,000 流動性供給▲5,000
7/29 (火) 弊社予想	500	1,000	1,500				0	1,500	
7/30 (水) 弊社予想	▲ 500	1,000	500				0	500	
7/31 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 1,500	▲ 2,000				0	▲ 2,000	交付税借入▲11,000期日13,000
8/1 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 5,000	▲ 5,500				0	▲ 5,500	2Y発行▲26,000償還23,200
週間合計	▲ 600	▲ 9,500	▲ 10,100	—	1,100	0	1,100	▲ 9,000	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.48～0.51%程度での推移が予想される。短国市場は、1日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月末発行を控え、市場残高がどこまで積み上がるかが注目される。

主要なイベントは、国内では、30日(水)～31日(木)に日銀金融政策決定会合、経済・物価情勢の展望、海外では、29日(火)～30日(水)に米FOMC、30日(水)に4-6月期の米GDP速報値、4-6月期のユーロ圏GDP1次速報、31日(木)に6月の米個人所得・消費支出(PCE)、1日(金)に7月の米雇用統計、7月のISM製造業景況指数、7月のユーロ圏消費者物価指数速報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入